尼崎市都市緑化植物園

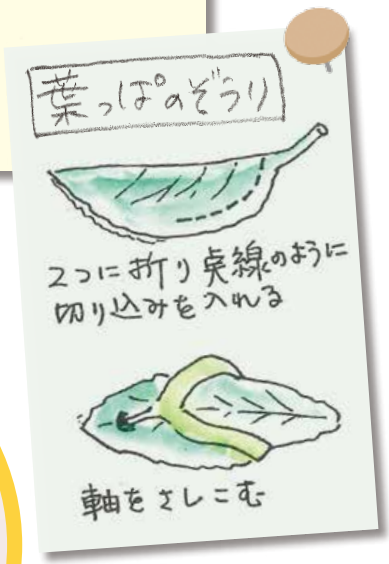
2016年8月1日発行
公益財団法人　尼崎緑化公園協会
URL://www.amaryoku.or.jp/

緑の相談所だより

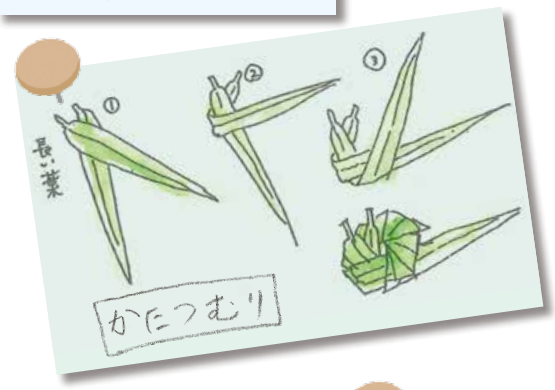
89
No,363
amaryoku flower and green news

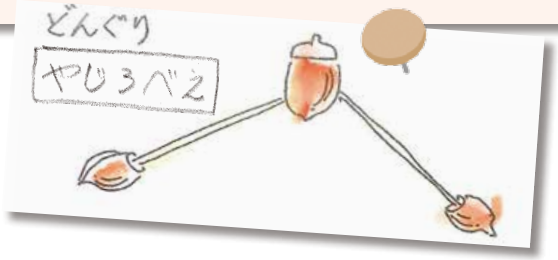
グアバ　学名：*Psidium guajava*
フトモモ科バンジロウ属。熱帯アメリカ原産の熱帯果樹。春ごろに白い花が咲き、秋に実がつきます。
実はジューシーで「熱帯のリンゴ」とも呼ばれます。葉は健康茶としても利用されています。

草木と遊んでみませんか



松葉の虫かご





四季が育んだ“草木あそび”

草木あそび塾
松井　鴻

長澤武は著書の『植物民俗』(2001年、法政大学出版局)の中で、中部地方以北の子どもたちがする草木あそびを調べ、「筆者が採取しただけでも、遊びに使用される植物は合計112種もあった。内訳は草本が76種、木本が36種だった。」と実に驚くべき数を述べています。かつての子どもたちが野山を駆け回り遊ぶ姿が目に浮かびますし、また、その遊びの一つ一つをじっくり見ますと、よくもこんなものを作ったものだと、その『遊び心』に感嘆させられます。

こうした遊びの中から、野草のひんやりした肌ざわりや香り、味覚、野の花の素朴な美しさを身体いっぱいに感じ取ったものです。そして、自然を大切にする心が養われるのではないでしょうか。しかし、残念ながらこうしたこころ豊な遊びが途絶えたように思えてなりません。こんなことから、四季が育んだ草木伝承あそびを今一度、見なおしてはと思っています。

身近な都市公園でも草木あそびが楽しめます。無論、やたらに木を折ったり葉を採ったりはダメですが、けっこう身近に素材が見つかるものです。芝生広場のシロツメグサでお母さんと子どもが花輪を編んでいる様子は何ともほっとする光景の一つです。野の花一輪、夕食のテーブルに添えてみることから、草木あそびを始めてはいかがでしょうか。

「遊び」を通じて、自然に親しんでもらえるよう、子ども達に草木あそびを教える松井さん。海外に日本の野遊びを紹介するなど、精力的に活動されています。

子供の頃に遊んだ草木あそびを聞いてみました～

緑の相談員
木下先生
神戸市 出身

小学生の頃、休み時間に笹鉄砲や水鉄砲をよく作りました。当時は小刀を持って登校してもよい時代で、遊び道具は自分達で作っていました。そんな中、がり勉の友達は不器用で、代わりに僕が作ってあげました。

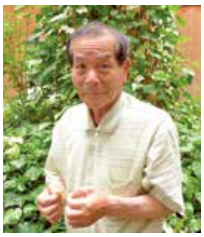
六甲山の麓でよく遊びましたが、農家のおじさんから竹をもらい水鉄砲や竹馬を作ったことを思いだします。

来園者さん
趣味は庭のお手入れや盆栽
尼崎市出身

子どもの頃、竹や半紙を使って飛行機を作りました。今でいうプラモデルみたいなものです。竹の水鉄砲も作りましたが、芯に巻く布の具合が悪かったのか、あまり遠くまでは飛びませんでした。ため池でうどんの麺をエサにしてフナ釣りをしたり、戦後、焼け野原になった工場の跡地で三角ベース(少人数制の野球のようなもの)をしてよく遊びました。

来園者さん
趣味はガーデニングと卓球
宮崎県出身

小学校の通学路は山と畑に囲まれた田舎道でした。脇に生える草の葉を取り、くるりと巻いて笛を作って鳴らしたり、笹船を作って小川に流し、追いかけながら家へと帰ったりしました。稲刈りが終わった後の田んぼが、レンゲ畑に姿を変えると、妹達にかんざしや花輪を作ってあげました。少し大きくなると数珠玉でお手玉なんかも作りました。シャカシャカと心地よい感触や音が懐かしいです。



草笛の名人
加藤さん
奄美大島出身

竹で釣竿を作り、川でカニやウナギを釣りました。それらを入れる魚カゴも竹で編んで作っていました。竹細工は得意で小学校の夏休みの工作の課題でも提出していました。

海では貝拾いをして、門に飾って厄除けにしたり、夜に松明を焚いてタコを捕まえたりと、川や海の大自然があそび場でした。

尼崎で仕事を始めて40年ぐらいたった頃、子どもの頃にやっていた草笛を披露する機会がありました。それ以来イベントや福祉施設で草笛の演奏会を定期的にやっています。懐かしい草笛の音色はいいものですよ！

森からの贈りもの展

草木あそび塾、松井鴻さんが、自然の素材から作り出す、癒しと遊び心満載の木工作品の数々をどうぞご覧ください。

緑の相談所　8月31日(水)まで

ベランダで秋の野菜作りを楽しもう！

緑の相談員　池田　廣

Vol.11

尼崎市は地域によってはマンションが多く見られます。マンション住まいのため野菜作りをあきらめている人もいると思いますが、そのような方はベランダでの野菜作りに挑戦してみませんか。

野菜は食べる部位から、コマツナやミズナなどのように葉を食べる野菜(葉菜類)、トマトやナスなどのように実を食べる野菜(果菜類)、ダイコンやニンジンなどのように根を食べる野菜(根菜類)の３つに大きく分けられます。ベランダで作る秋の野菜としては、成長が早くて種まきから収穫までの日数が短い葉菜類が適しています。根菜類の中でも成長の早いハツカダイコンも良いでしょう。

栽培を始めるにあたって、種子・苗、プランター、栽培用土、肥料をホームセンターなどで購入します。下の「用意するもの」を参考にして下さい。すべてが同梱され、セット後は水をやるだけで始められる栽培キットを販売しているホームセンターやコンビニもあり、それから始めるのも一法でしょう。

プランターの９分くらいまで用土を入れ、表面を平らにします。葉菜類の栽培では割り箸などを使って深さ５mmくらいの浅い溝をつけます。プランターに余裕があれば10cm程度離して別の溝をつけます。小さなプランターなら溝をつけずにばら播きしても構いません。その溝に１～２cm間隔で種子を播き、土を少し被せます。苗を買った場合は、苗の土の表面がプランターの土の表面と同じ高さになるように植えつけます。播種・植え付け後はジョロでたっぷり水をやります。置き場所は日当たりの良い明るい所がよく、明るい場所であれば直射日光が当たらなくても十分に栽培できます。芽が出てきたら10日に一度くらいで肥料を与えます。

葉菜類は一度にたくさん播くよりも少しずつを10日くらいの間隔で播いていくと食べ頃の野菜が順番に収穫できます。播き残した種子は湿らせないように容器に入れて冷蔵庫で保管すれば１年は保管できます。採りたての新鮮な野菜の香りや風味を楽しんでください。

写真上：コンビニなどですぐに始められる栽培キットが売られている。培養土の入った栽培容器、種、肥料などが入っている。

写真左：カラーリーフレタス。食べる楽しみに加え、様々な色と形でベランダを彩る。

用意するもの

①種子・苗：複数の品種の種子が販売されている時は早く収穫できる早生の品種を選ぶと良い。
　リーフレタスは苗を購入するのが簡単です。
②プランター(栽培用の容器)：葉菜類やハツカダイコンの栽培であれば深さ25cmくらいで良い。
　側面よりも底面に排水穴のあるのを選んだ方が良い。
③栽培用土：肥料が混ぜられている野菜用の土を使うのが簡単です。
④肥料：化成肥料あるいは液肥がよいでしょう。

栽培の注意点

①水は土の表面が乾いたらたっぷり与えます。
②日当たりに注意しましょう。２～３時間くらい太陽光が当たる場所であれば十分に栽培できます。
③肥料は少しずつ与えるようにし、一度にたくさん与えることは避けます。

花と緑の伝言板

花のまち委員会の会員募集

尼崎市内の公園や道路の植樹帯などの街角に花壇をつくり、種まきや花壇の管理を行う花と緑のボランティアを募集しています。

【対象】尼崎市内在住か在勤、在学の人。

お花の育苗中！

一緒に活動しましょう！

【お問い合わせ】尼崎緑化公園協会　TEL 06-6494-9046

イベント・展示会・講習会のご案内

8月

上坂部西公園　緑の相談所　8月

・7月20日(水)～8月31日(水)
展示会「森からの贈りもの展」
出展：草木あそび塾
松井鴻

・6日(土)　おうちで食虫植物を育てよう！
10:00～12:00
講師：協会職員 森田智一
キッズ
要申込(先着20名)・費用￥600

・7日(日)　菊づくり講習会 13:30～15:30
「盆栽本定植、短日処理、肥料調整、
小菊挿し芽、殺虫消毒」
講師：兵庫県菊花連合会
会長 保田三千男

・20日(土)　小品盆栽 講習会 13:30～15:30
「夏の管理」
尼崎小品盆栽山草会

夏休み
真っ盛り！

緑の相談所 工作コーナー
草木あそびのお誘い

8/5(金)　竹の水鉄砲を作って遊ぼう！
8/12(金)　ツワブキの葉のブーケを作ろう
8/19(金)　身近な草花で一緒に遊ぼう！

13：30～16：00 随時受付(15名ぐらい)　無料

9月

上坂部西公園　緑の相談所　9月

・4日(日)　菊づくり講習会 13:30～15:30
講師：兵庫県菊花連合会 会長 保田三千男

・11日(日)　皐月盆栽 講習会 13:30～15:30
講師：尼崎皐月協会　松本昌信

・16日(金)　植物園ボランティア体験講座
10:00～12:00
講師：協会職員 田上義信・要申込・費用不要

・17日(土)　リメイク缶にキッチンハーブを植えよう
10:30～12:00
講師：協会職員 川嶋暢子
要申込・定員15 名　費用￥500

・17日(土)　小品盆栽 講習会 13:30～15:30
講師：尼崎小品盆栽山草会

・24日(土)　植物園ガイド 11:00～11:40
講師：尼崎都市緑化植物園グリーンヘルパー

・24日(土)　洋ラン　講習会 13:30 ～15:30
「冬に花を咲かせるための準備」
講師：尼崎洋ラン会

・25日(日)　ベランダで秋の野菜作りを楽しもう
10:00～12:00
講師：緑の相談員 池田　廣
要申込・定員15名　費用￥500 (苗付)

中央公園　9月

・9日(金)　ガーデニング体験講座 10:00～12:00
講師：協会職員　宮内和之
要申込・費用不要

・30日(金)～10月2日(日)
展示会「豆盆栽展」
10㎝前後の小品盆栽を約20席を展示します。

お申込み・お問い合わせ

上坂部西公園　緑の相談所・西武庫公園
TEL 06-6426-4022

中央公園パークセンター
TEL 06-6411-8714

※有料講習会のキャンセルは1週間前まで。それ以降は材料の引き取りをお願いします。
※申込の際に持参品の確認をお願いします。

尼崎の森中央緑地 から

詳しくは尼崎の森中央緑地パークセンターまで
ＴＥＬ06-6412-1900
Eメール　info_amamori@hyogopark.com
webサイト「森のウェブマガジン」http://ama21mag.jp

◎いつでも体験プログラム(9:00～17:00)
8月夏の生き物クイズ/9月木の実のクラフト
◎森づくり定例活動(9:45～12:00)
8月7日(日)、19日(金)/9月4日(日)、16日(金)
◎あまがさき森っこ活動日
(10:00～11:30※受付9:45～)
8月28日(日)クズの除草と葛餅作りなど
申込必要、8月21日(日)までにEメールにて
9月25日(日)土の中の生き物さがしなど
申込不要、先着20名

◎尼崎の森中央緑地案内ツアー
(毎日実施13:30～14:15)
◎森の探検隊
「つくろう！世界に一つの森の物語」
8月20日(土)10:00～12:00
申込必要(詳しくは森のウェブマガジンを)
◎めざせ、虫取り名人！
虫取り名人と昆虫採集を行ないます
9月18日(日)10:00～12:00
定員200名　申込必要

◆ 尼崎市都市緑化植物園　(上坂部西公園)　緑の相談所

〒661-0011 尼崎市東塚口町２－２－１　☎ 06－6426－4022 (fax同)
公園開園時間：4～9月 6:00～21:00　10～3月 6:00～18:00 (年中無休)
温室開館時間：10:00～16:00 (火曜、水曜、年末年始は休館)
緑の相談所開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで) ※年末年始は休館
園芸相談：10:00～12:00　13:00～16:00　☎06－6426－7500

JR塚口駅/西南へ徒歩５分
阪急塚口駅/東南徒歩15分
阪神バス・阪急バスともに「ピッコロシアター」下車東南へ徒歩１分

知れば知るほど"あまがすき"
amagasaki love 100th
尼崎市市制100周年

◆ 中央公園パークセンター

〒660-0884 尼崎市神田中通１－４
☎ 06－6411－8714 (fax同)
開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日：水曜、木曜、祝日、年末年始

阪神尼崎駅/北へ１分

[編集：発行] 公益財団法人 尼崎緑化公園協会　〒661-0979 尼崎市上坂部２－１－９　TEL：06－6494－9046　FAX：06－6494－9049　URL：http://www.amaryoku.or.jp/